

公立病院経営強化プランの概要

団体コード	108936
施設コード	002

団体名	富岡地域医療企業団							
プランの名称	富岡地域医療企業団 経営強化プラン（公立七日市病院）							
策定日	令和 6 年 3 月							
対象期間	令和 6 年度 ～ 令和 9 年度							
病院の現状	病院名	公立七日市病院	現在の経営形態			地方公営企業法全部適用		
	所在地	群馬県富岡市七日市643番地						
	病床数	病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症	計
		一般・療養病床の病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計※	※一般・療養病床の合計数と一致すること
診療科目	科目名	内科 皮膚科 リハビリテーション科（計3科目）						
① 役割・機能の最適化と連携の強化	①地域医療構想を踏まえた当該病院の果たすべき役割							
	現状における当該病院の果たす役割		<ul style="list-style-type: none"> 公立富岡総合病院が急性期医療を担い、当院は慢性期、回復期リハビリテーション、在宅医療を担う役割を果たします。 高齢者の内科疾患や神経難病で医学管理が必要な患者を受け入れ、神経難病の在宅医療を支援するためのレスパイト入院の受け入れも行います。 患者の在宅復帰支援を目的に、治療とリハビリテーション、多職種が関わる退院支援を充実させ、地域包括ケアシステムを支える役割を担います。 脳血管疾患や大腿骨頸部骨折後など急性期治療後の雇用が懸念される患者に集中的なりハビリテーションを提供します。 在宅療養支援病院として、外来受診が困難な患者を訪問看護ステーションと協力して訪問診療や訪問看護を実施します。 					
	経営強化プラン最終年度における当該病院の具体的な将来像		<ul style="list-style-type: none"> 公立富岡総合病院が急性期医療を担い、当院は慢性期、回復期リハビリテーション、在宅医療を担う役割を果たします。 高齢者の内科疾患や神経難病で医学管理が必要な患者を受け入れ、神経難病の在宅医療を支援するためのレスパイト入院の受け入れも行います。 患者の在宅復帰支援を目的に、治療とリハビリテーション、多職種が関わる退院支援を充実させ、地域包括ケアシステムを支える役割を担います。 脳血管疾患や大腿骨頸部骨折後など急性期治療後の雇用が懸念される患者に集中的なりハビリテーションを提供します。 在宅療養支援病院として、外来受診が困難な患者を訪問看護ステーションと協力して訪問診療や訪問看護を実施します。 患者の減少傾向の中、医療の質向上を目指し適切な病床数、職員数を確保していく。 					
	令和7年度（地域医療構想の推計年）における当該病院の機能ごとの病床数	病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症	計
		一般・療養病床の病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計※	※一般・療養病床の合計数と一致すること
	経営強化プラン最終年度における当該病院の機能ごとの病床数	病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症	計
		一般・療養病床の病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計※	※一般・療養病床の合計数と一致すること
	②地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割							
	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者医療の充実を図る（看取りを含む高齢者医療）。 訪問診療、訪問看護を中心とした在宅との医療連携の継続。 回復期リハビリテーション病棟入院料1の施設基準を継続。 地域連携パスを活用し、脳血管疾患や大腿骨頸部骨折後の転院を受け入れ、集中的なりハビリを提供する。 地域包括ケア病棟入院料1の施設基準を継続。 高齢者の内科疾患や神経難病で医学管理が必要な患者を受け入れ、在宅医療を支援するためのレスパイト入院の受け入れも行う。 							
	③機能分化・連携強化の取組							
当該公立病院の状況		<input type="checkbox"/> 施設の新設・建替等を行う予定がある <input type="checkbox"/> 病床利用率が特に低水準（令和元年度から、令和3年度まで過去3年間連続して70%未満） <input type="checkbox"/> 経営強化プラン対象期間中に経常黒字化する数値目標の設定が著しく困難 <input type="checkbox"/> 地域医療構想や今般の新型コロナウイルス感染症対応を踏まえ、病院間の役割分担と連携強化を検討することが必要である <input type="checkbox"/> 医師・看護師等の不足により、必要な医療機能を維持していくことが困難						
構想区域内の病院等配置の現状		<ul style="list-style-type: none"> 公立病院：公立富岡総合病院、公立七日市病院、下仁田厚生病院 民間病院：西毛病院 以上、病院は4施設						
当該病院に係る機能分化・連携強化の概要		<時期> <内容>						
（注） 1詳細は別紙添付可 2具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。		R9 急性期と在宅をつなぐ回復期としてリハビリテーションを強化し、多職種が関わる退院支援を充実させ、患者の在宅復帰支援を行います。在宅療養支援病院として、他院、他施設、ケアマネと連携し、訪問診療、訪問看護の充実・拡大を図ります。						

④医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標												
1) 医療機能に係るもの		3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	備考			
入院患者数(人)		46,585	45,025	47,779	47,301	46,828	46,360	46,360				
うち一般(障害者施設)(人)		28,578	26,983	29,419	28,941	28,468	28,000	28,000				
うち回復期リハ病棟(人)		18,007	18,042	18,360	18,360	18,360	18,360	18,360				
外来患者数(人)		19,937	20,531	19,836	19,737	19,638	19,540	19,540				
リハビリテーション単位数		116,420	107,881	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000				
2) 医療の質に係るもの		3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	備考			
患者満足度(%)		85.0	80.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0				
在宅復帰率(%)		84.7	84.3	85.1	85.1	85.1	85.1	85.1				
3) 連携の強化等に係るもの		3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	備考			
紹介率(%)		36.2	22.2	30.5	30.5	30.5	30.5	30.5				
4) その他		3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	備考			
⑤一般会計負担の考え方 (繰出基準の概要)		<p>公立病院は、地方公営企業として運営される以上、独立採算を原則とすべきであるが、一定の経費については、一般会計との経費負担の原則に基づいて、地方公営企業法及び総務省の定める繰出基準(総務省通知「地方公営企業に対する繰出金」について)に沿って、構成市町の財政担当者と協議により、一般会計等の負担を取り決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投資に係る企業債の元金・利息(繰出基準の範囲)に対する負担金。 ・土地及び建物等の購入に関する負担金。 ・高額医療機器の導入に関する負担金。 ・特別交付税措置に関する繰入れ。 ・医師確保、看護師確保等に関する負担金。 										
⑥住民の理解のための取組		<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民を対象に、リハビリ療法士や看護師が地域に赴き、運動指導、介護予防指導、認知症の講話や実技指導などを積極的に行っていく。 ・広報誌「お元気ですか?」を年4回発行し、病院の診療機能、各部署の活動、地域連携の紹介など当院の特徴を活かした取り組みを紹介する中で住民への理解を深めていく。 ・ホームページを活用し、当院の情報を発信していく。 										
① 医師・看護師等の確保の取組	<p>大学など関係機関への継続した働きかけを行うとともに、医師の業務負担の軽減及び効率化を図るなど、勤務環境の改善を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通勤の負担軽減のため、高速道路料金補助を実施。 ・定年退職後の医師を会計年度任用職員として再雇用し人材を確保。 											
	<p>② 臨床研修医の受入れ等を通じた若手医師の確保の取組</p> <p>臨床研修協力施設として、臨床研修病院指定施設の公立富岡総合病院より、研修医を研修期間中に1ヶ月間受け入れている。</p>											
	<p>③ 医師の働き方改革への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院勤務医の負担軽減及び処遇の改善に資する計画を策定し、実施している。 ・2023年3月に宿日直許可を取得した。 											
③ 経営形態の見直し	<p>経営形態の現況 (該当箇所に✓を記入)</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公営企業法財務適用 <input checked="" type="checkbox"/> 地方公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 一部事務組合・広域連合</p>											
	<p>経営形態の見直し(検討)の方向性 (該当箇所に✓を記入、検討中の場合は複数可)</p> <p><input type="checkbox"/> 地方独立行政法人(非公務員型) <input checked="" type="checkbox"/> 地方公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度</p> <p><input type="checkbox"/> 民間譲渡 <input type="checkbox"/> 診療所化 <input type="checkbox"/> 介護医療院、老健施設など、医療機関以外の事業形態への移行</p>											
	<p>経営形態見直し計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付可 2 具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th><時期></th> <th><内容></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>平成30年度に専任の事業管理者を置き、公立富岡総合病院と公立七日市病院の500床を一体的に機能させ、迅速な意思決定の下、効率的に運営していくための組織の再構築を図ることを目的に全部適用とした。引き続き、現行の体制を継続し、経営改善に努めていく。</td> </tr> </tbody> </table>									<時期>	<内容>	
<時期>	<内容>											
	平成30年度に専任の事業管理者を置き、公立富岡総合病院と公立七日市病院の500床を一体的に機能させ、迅速な意思決定の下、効率的に運営していくための組織の再構築を図ることを目的に全部適用とした。引き続き、現行の体制を継続し、経営改善に努めていく。											

<p>(4) 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・院内感染対策の徹底。 ・診療・検査指定医療機関として、設備整備、感染防護具の備蓄。 ・クラスター発生時には、感染対策委員会を中心に富岡総合病院と連携しながら迅速に対応していく。 																																																																																																																																																																																																																																									
<p>(5) 施設・設備の最適化</p> <p>① 施設・設備の適正管理と整備費の抑制</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した設備や機器が多く、今後も計画的な更新が必要になる。更新の際には必要性や適正な規模等について、経営会議、財政民生担当者会議、機種選定委員会等で十分な検討を行う。 ・専門的な知識を持った富岡総合病院施設課と連携し、助言・指導を受けながら協力してメンテナンスを自院で行っていく。 ・長期契約を締結し、経費等を抑制する。 																																																																																																																																																																																																																																									
<p>② デジタル化への対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・専門知識を持った公立富岡総合病院医療情報課と連携を取り進めていく。 ・電子カルテ・オンライン資格確認等導入済み。電子カルテ導入により院内の医療情報連携・情報共有に寄与している。 ・利活用を促進するための環境整備を行い、業務負担軽減に繋げる。 ・システムのバックアップ環境を強化し、サイバー攻撃等のトラブルに備える。 																																																																																																																																																																																																																																									
<p>(6) 経営の効率化</p> <p>① 経営指標に係る数値目標</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>3年度 (実績)</th> <th>4年度 (実績)</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th>8年度</th> <th>9年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="9">1) 収支改善に係るもの</td> </tr> <tr> <td>経常収支比率 (%)</td> <td>102.3</td> <td>104.5</td> <td>101.2</td> <td>100.9</td> <td>101.0</td> <td>100.8</td> <td>100.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>修正医業収支比率 (%)</td> <td>101.5</td> <td>103.0</td> <td>100.6</td> <td>100.2</td> <td>100.3</td> <td>100.1</td> <td>100.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="9">3) 収入確保に係るもの</td> </tr> <tr> <td>1日当たり入院患者数 (人)</td> <td>128</td> <td>123</td> <td>131</td> <td>129</td> <td>128</td> <td>127</td> <td>127</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1日当たり外来患者数 (人)</td> <td>82</td> <td>85</td> <td>82</td> <td>81</td> <td>81</td> <td>81</td> <td>80</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入院診療単価 (円)</td> <td>32,965</td> <td>35,978</td> <td>33,093</td> <td>33,093</td> <td>33,093</td> <td>33,093</td> <td>33,093</td> <td></td> </tr> <tr> <td>病床利用率 (%)</td> <td>78.8</td> <td>76.1</td> <td>80.8</td> <td>79.7</td> <td>79.1</td> <td>78.3</td> <td>78.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="9">3) 経費削減に係るもの</td> </tr> <tr> <td>職員給与費の対医業収益比率 (%)</td> <td>74.6</td> <td>73.3</td> <td>74.4</td> <td>74.9</td> <td>75.0</td> <td>75.3</td> <td>75.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>材料費の対医業収益比率 (%)</td> <td>4.9</td> <td>5.5</td> <td>5.2</td> <td>5.2</td> <td>5.1</td> <td>5.0</td> <td>4.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>委託費の対医業収益比率 (%)</td> <td>7.2</td> <td>6.6</td> <td>7.0</td> <td>7.0</td> <td>7.0</td> <td>7.0</td> <td>7.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>100床当たり職員数 (人)</td> <td>104.1</td> <td>103.3</td> <td>102.0</td> <td>100.7</td> <td>100.7</td> <td>100.7</td> <td>100.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="9">4) 経営の安定性に係るもの</td> </tr> <tr> <td>医師数 (正職) (人)</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>純資産の額 (千円)</td> <td>1,074,257</td> <td>1,160,918</td> <td>1,183,918</td> <td>1,199,918</td> <td>1,218,918</td> <td>1,233,918</td> <td>1,246,918</td> <td></td> </tr> <tr> <td>現金保有残高 (千円)</td> <td>554,234</td> <td>690,309</td> <td>677,309</td> <td>661,309</td> <td>643,309</td> <td>624,309</td> <td>605,309</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>上記数値目標設定の考え方</td> <td colspan="8" data-bbox="456 1447 1501 1525"> <ul style="list-style-type: none"> ・修正医業収支は100%以上になるよう設定した。 ・企業債借入については、患者のニーズや診療体制、後年度の収支への影響、病院建物の状況等を踏まえ、計画的に実施する。 </td> </tr> <tr> <td>② 経常収支比率及び修正医業収支比率に係る目標設定の考え方 (対象期間中に経常黒字化が難しい場合の理由及び黒字化を目指す時期、その他目標設定の特例を採用した理由)</td> <td colspan="8" data-bbox="456 1525 1501 1675"> <ul style="list-style-type: none"> ・経常黒字を継続し、堅持していく。 </td> </tr> </tbody> </table>										3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	備考	1) 収支改善に係るもの									経常収支比率 (%)	102.3	104.5	101.2	100.9	101.0	100.8	100.7		修正医業収支比率 (%)	101.5	103.0	100.6	100.2	100.3	100.1	100.0																				3) 収入確保に係るもの									1日当たり入院患者数 (人)	128	123	131	129	128	127	127		1日当たり外来患者数 (人)	82	85	82	81	81	81	80		入院診療単価 (円)	32,965	35,978	33,093	33,093	33,093	33,093	33,093		病床利用率 (%)	78.8	76.1	80.8	79.7	79.1	78.3	78.3											3) 経費削減に係るもの									職員給与費の対医業収益比率 (%)	74.6	73.3	74.4	74.9	75.0	75.3	75.6		材料費の対医業収益比率 (%)	4.9	5.5	5.2	5.2	5.1	5.0	4.9		委託費の対医業収益比率 (%)	7.2	6.6	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0		100床当たり職員数 (人)	104.1	103.3	102.0	100.7	100.7	100.7	100.7											4) 経営の安定性に係るもの									医師数 (正職) (人)	9	9	9	9	9	9	9		純資産の額 (千円)	1,074,257	1,160,918	1,183,918	1,199,918	1,218,918	1,233,918	1,246,918		現金保有残高 (千円)	554,234	690,309	677,309	661,309	643,309	624,309	605,309											上記数値目標設定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・修正医業収支は100%以上になるよう設定した。 ・企業債借入については、患者のニーズや診療体制、後年度の収支への影響、病院建物の状況等を踏まえ、計画的に実施する。 								② 経常収支比率及び修正医業収支比率に係る目標設定の考え方 (対象期間中に経常黒字化が難しい場合の理由及び黒字化を目指す時期、その他目標設定の特例を採用した理由)	<ul style="list-style-type: none"> ・経常黒字を継続し、堅持していく。 							
	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	備考																																																																																																																																																																																																																																		
1) 収支改善に係るもの																																																																																																																																																																																																																																										
経常収支比率 (%)	102.3	104.5	101.2	100.9	101.0	100.8	100.7																																																																																																																																																																																																																																			
修正医業収支比率 (%)	101.5	103.0	100.6	100.2	100.3	100.1	100.0																																																																																																																																																																																																																																			
3) 収入確保に係るもの																																																																																																																																																																																																																																										
1日当たり入院患者数 (人)	128	123	131	129	128	127	127																																																																																																																																																																																																																																			
1日当たり外来患者数 (人)	82	85	82	81	81	81	80																																																																																																																																																																																																																																			
入院診療単価 (円)	32,965	35,978	33,093	33,093	33,093	33,093	33,093																																																																																																																																																																																																																																			
病床利用率 (%)	78.8	76.1	80.8	79.7	79.1	78.3	78.3																																																																																																																																																																																																																																			
3) 経費削減に係るもの																																																																																																																																																																																																																																										
職員給与費の対医業収益比率 (%)	74.6	73.3	74.4	74.9	75.0	75.3	75.6																																																																																																																																																																																																																																			
材料費の対医業収益比率 (%)	4.9	5.5	5.2	5.2	5.1	5.0	4.9																																																																																																																																																																																																																																			
委託費の対医業収益比率 (%)	7.2	6.6	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0																																																																																																																																																																																																																																			
100床当たり職員数 (人)	104.1	103.3	102.0	100.7	100.7	100.7	100.7																																																																																																																																																																																																																																			
4) 経営の安定性に係るもの																																																																																																																																																																																																																																										
医師数 (正職) (人)	9	9	9	9	9	9	9																																																																																																																																																																																																																																			
純資産の額 (千円)	1,074,257	1,160,918	1,183,918	1,199,918	1,218,918	1,233,918	1,246,918																																																																																																																																																																																																																																			
現金保有残高 (千円)	554,234	690,309	677,309	661,309	643,309	624,309	605,309																																																																																																																																																																																																																																			
上記数値目標設定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・修正医業収支は100%以上になるよう設定した。 ・企業債借入については、患者のニーズや診療体制、後年度の収支への影響、病院建物の状況等を踏まえ、計画的に実施する。 																																																																																																																																																																																																																																									
② 経常収支比率及び修正医業収支比率に係る目標設定の考え方 (対象期間中に経常黒字化が難しい場合の理由及び黒字化を目指す時期、その他目標設定の特例を採用した理由)	<ul style="list-style-type: none"> ・経常黒字を継続し、堅持していく。 																																																																																																																																																																																																																																									

③目標達成に向けた具体的な取組（どのような取組をどの時期に行うかについて、特に留意すべき事項も踏まえ記入）	民間の経営手法の導入	・職員一人ひとりがコスト意識を持ち、経営の効率化と経営参画意識を高め、病院の運営に活かしていく。	
	事業規模・事業形態の見直し	・今後も富岡総合病院と一体との考えの下、地域の医療ニーズに相応した病院機能を明確にし適切な病床数や人員配置等、事業規模の見直し等に取り組んでいく。	
	収入増加・確保対策	・急性期と在宅をつなぐ回復期として、回復期リハビリテーション病棟入院料1と地域包括ケア病棟入院料1の施設基準を維持し、医療の質を高めながら、収益の確保に努める。 ・在宅療養支援病院として、訪問診療、訪問看護の充実・拡大を図る。 ・診療報酬請求漏れの防止と査定による減点率の縮小に取り組む。 ・未収金の発生防止に努める。	
	経費削減・抑制対策	・職員の適正配置及び給与費と収益の均衡を保つ。 ・業務委託料の見直しによる経費削減。 ・専門知識を持った富岡総合病院の施設課や臨床工学士と連携を取り、機器の点検や設備の修繕などを依頼していくことで費用を削減していく。 ・賃貸借契約をしている病院敷地や駐車場の単価契約について、市借受基準単価に合わせる交渉に取り組む。	
	その他	・毎年、バランス・スコアカード（BSC）を作成し、全職員が病院全体の目標を把握し、日々その実践を心がけながら、一丸となって目標の達成に向けて取り組みます。 ・急性期病院、地域の医療機関や施設等と情報共有し、更なる連携強化に努める。	
④経営強化プラン対象期間中の各年度の収支計画等	別紙1記載		
※点検・評価・公表等	策定プロセス（経営強化プラン策定にあたり、①庁内調整状況、②他の地方公共団体・関係医療機関等・専門家等との意見交換状況③議会・住民への説明状況等について記載すること）	企業団で経営強化プラン（案）を作成し、当企業団職員その他、住民代表、有識者から組織する既存の改革プラン評価委員会にて協議を行い、策定する。策定したものは、議会へ報告するとともにホームページでも公表する。	
	点検・評価等の体制（委員会等を設置する場合その概要）	当企業団職員その他、住民代表、有識者から組織する富岡地域医療企業団経営強化プラン評価委員会を設置し、点検・評価を行う。	
	点検・評価の時期（毎年〇月頃等）	毎年8月頃	
	公表の方法	実施状況及び審議内容の結果を議会に報告し、病院ホームページで公表する。	
	その他特記事項		

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)

年度		3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	
区分									
収	1. 医 業 収 益 a	1,806	1,908	1,819	1,802	1,795	1,780	1,771	
	(1) 料 金 収 入	1,769	1,875	1,776	1,760	1,753	1,738	1,729	
	(2) そ の 他	37	33	43	42	42	42	42	
	うち他会計負担金 b	0	0	0	0	0	0	0	
	2. 医 業 外 収 益	69	83	63	63	64	64	64	
	(1) 他会計負担金・補助金	15	14	14	14	14	14	14	
	(2) 国 (県) 補 助 金	3	19	5	5	5	5	5	
入	(3) 長 期 前 受 金 戻 入	43	43	37	37	38	38	38	
	(4) そ の 他	8	7	7	7	7	7	7	
	経 常 収 益 (A)	1,875	1,991	1,882	1,865	1,859	1,844	1,835	
	支	1. 医 業 費 用 c	1,779	1,852	1,808	1,798	1,789	1,778	1,771
		(1) 職 員 給 与 費 d	1,347	1,398	1,353	1,350	1,347	1,341	1,338
		(2) 材 料 費	89	105	95	93	91	89	87
		(3) 経 費	240	246	268	265	262	260	258
(4) 減 価 償 却 費		89	89	88	87	86	85	85	
(5) そ の 他		14	14	4	3	3	3	3	
2. 医 業 外 費 用		53	54	51	51	51	51	51	
出	(1) 支 払 利 息	17	15	17	17	17	17	17	
	(2) そ の 他	36	39	34	34	34	34	34	
	経 常 費 用 (B)	1,832	1,906	1,859	1,849	1,840	1,829	1,822	
	経 常 損 益 (A)-(B) (C)	43	85	23	16	19	15	13	
	特別損益	1. 特 別 利 益 (D)	9	2	0	0	0	0	0
		2. 特 別 損 失 (E)	0	0	0	0	0	0	0
		特別損益 (D)-(E) (F)	9	2	0	0	0	0	0
純 損 益 (C)+(F)	52	87	23	16	19	15	13		
累 積 欠 損 金 (剰 余 金) (G)	461	548	571	587	606	621	634		
不良債務	流 動 資 産 (ア)	872	995	995	995	995	995	995	
	流 動 負 債 (イ)	290	292	292	292	292	292	292	
	うち一時借入金	0	0	0	0	0	0	0	
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0	0	0	
	当年度同意等債で未借入又は未発行の額	0	0	0	0	0	0	0	
	不良債務差引 [(イ)-(エ)] - [(ア)-(ウ)] (オ)	0	0	0	0	0	0	0	
	経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	102.3	104.5	101.2	100.9	101.0	100.8	100.7	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{c} \times 100$	101.5	103.0	100.6	100.2	100.3	100.1	100.0		
修 正 医 業 収 支 比 率 $\frac{a-b}{c} \times 100$	101.5	103.0	100.6	100.2	100.3	100.1	100.0		
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{d}{a} \times 100$	74.6	73.3	74.4	74.9	75.0	75.3	75.6		
地方財政法施行令第15条第1項により算定した資金の不足額 (H)	0	0	0	0	0	0	0		
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
病 床 利 用 率	78.8	76.1	80.8	79.7	79.1	78.3	78.3		

団体名
(病院名)

富岡地域医療企業団
(公立七日市病院)

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

年度		3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
収 入	1. 企業債	0	36	40	0	0	0	0
	2. 他会計出資金	0	0	0	0	0	0	0
	3. 他会計負担金	59	70	60	60	60	60	60
	4. 他会計借入金	0	0	0	0	0	0	0
	5. 他会計補助金	0	0	0	0	0	0	0
	6. 国(県)補助金	0	0	0	0	0	0	0
	7. その他	0	0	0	0	0	0	0
	収入計 (a)	59	106	100	60	60	60	60
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0	0
	前年度同意債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0	0
純計(a)-(b)+(c) (A)	59	106	100	60	60	60	60	
支 出	1. 建設改良費	28	54	45	5	5	5	5
	2. 企業債償還金	97	119	119	121	121	121	121
	3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0	0	0	0
	支出計 (B)	125	173	164	126	126	126	126
差引不足額 (B)-(A) (C)	66	67	64	66	66	66	66	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	66	67	64	66	66	66	66
	2. 利益剰余金処分量	0	0	0	0	0	0	0
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0	0	0	0
計 (D)	66	67	64	66	66	66	66	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	0	0	
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	

1. 複数の病院を有する事業にあっては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
2. 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
収益的収支	(0) 15	(0) 14	(0) 14	(0) 14	(0) 14	(0) 14	(0) 14
資本的収支	(0) 59	(0) 70	(0) 60	(0) 60	(0) 60	(0) 60	(0) 60
合計	(0) 74	(0) 84	(0) 74	(0) 74	(0) 74	(0) 74	(0) 74

(注)

- 1 ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 2 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務副大臣通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金というものであること。